

## 一年間たくさんのご支援ご協力いただきまして、ありがとうございました。

春光うららかな季節となってまいりました。日頃より、小野小学校教育推進にご理解ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この一年、学校教育目標「笑顔いっぱいの子どもの育成」に迫るべく取組に力を入れ、進めてきました。3月初めに行いました後期アンケートの結果をお知らせいたします。

この一年の取組を分析し、今年度の成果と課題を整理し、来年度も学校改善に努めていきます。今後も引き続き、保護者・地域の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

No.	質問内容	児童		保護者		教職員	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	毎日、楽しく学校に通っている	90.9	↑ 91.2	95.0	92.4	62.5	↑ 100
2	授業で学習したことがよくわかる。	88.9	↑ 90.2	85.9	85.7	86.9	↑ 87.5
3	先生や友だちの話を最後まで聞いている。	91.6	↑ 92.0	74.4	↑ 80.4	62.0	50.0
4	家で、宿題や勉強をきちんとしている。	88.2	↑ 92.2	90.5	90.0	60.9	↑ 87.5
5	元気のよいあいさつをしている。	78.9	73.4	71.2	↑ 74.5	58.4	50.0
6	当番や係の仕事を最後までしっかりやっている。	94.7	94.1	71.3	↑ 78.9	50.0	↑ 91.7
7	早寝早起きをしている。	71.2	69.9	70.2	59.8	88.0	58.3
8	テレビを見る時間やゲームをする時間を決めている。	61.8	59.3	59.5	51.6	76.0	54.2
9	学校や学級のきまりや約束を守っている。	92.8	↑ 93.5	92.6	↑ 93.5	45.8	↑ 83.3
10	困ったことがあれば、先生に相談できる。	76.9	74.1	90.0	↑ 90.9	60.0	↑ 91.7
11	PTAや地域の行事によく参加している。	62.5	44.3	59.0	56.7	50.0	↑ 54.2

後期からの取組で、いくつかの点で改善が見られました。まずは、「①毎日、楽しく学校に通っている。」の子どもの数値が上がってきているのがうれしいです。後期は、学校行事や学年行事も多く、楽しい活動が多かったこともあると思いますが、やはり、子ども同士のつながりができてきたことも要因として考えられます。小野校は、6年生以外毎年クラス替えがあります。一年間築き上げてきたつながりを基に、友だちの関係を広く深くしてくれることを願っています。



次に「②授業で学習したことがよくわかる。」の数値も上がりました。これは、担任を始め、教師も実感しています。子どもは漢字や計算の練習を熱心にしています。学校でも昼の帯時間に計算問題の練習の量や質を考えています。その成果として、計算の仕方が身に付き、小数点を意識したり計算ミスが減ったりして、点数を採れたことで子どもも「勉強がよくわかる」と実感しているようです。言語については、漢字の練習はしっかりしています。子どもたちも「やっている」という達成感があるようです。しかし、課題としては「伝える力の不足」が見られることです。活字離れが進み、読書や文章に対しての苦手感は大きいように見受けられます。また、話し言葉も単語が多く、自分は分かっていても、相手に分からせようという意識は薄いです。自分の思いをぶつけ合っている場面をよく見ます。

相手に伝えるためには、どんな言葉が必要で、どの順序で伝えればいいのか考える必要があります。子どもたちは

その経験が少ないようです。ご家庭でも、単語での会話を減らし、少し言葉を選んでの会話をしてみてください。

「門前の小僧、習わぬ経を読む」です。経験の積み重ねは大きな力になります。

最後に子どもも保護者も教職員も大幅に改善が見られたと考えている項目が「⑨学校や学級のきまりや約束を守っている。」です。学校や学級のきまりは、ほぼ守っていると思われます。たて割り活動があることで、高学年は低学年の対して思いやりを見せ、低学年も高学年を慕っている光景をよく見かけます。

休み時間も守り、音楽が鳴ると遊びを切上げ、教室に入っています。遊ぶ場所もきまりを守り、お互い注意し合っています。注意された方も、素直に聞くことができるようになってきました。

ただ、ふとした行動が気になります。廊下を走る。階段を飛び下りる。ポケットに手を入れて走る。これらは、学校や学級のきまりにはなっていないものもありますが、大きなかがにつながっています。「楽しい」「面白い」で行動するのではなく。次の場面でどうなるのか、考えて行動してほしいです。『自分の身は、自分で守る』ことをもっと重大に考えてほしいと願っています。

今度は、今後もいろいろ手立てを考えていかないといけない項目です。

まずは、「⑦早寝早起きをしている。」です。この項目は、子どもも保護者もできない



# 新学年に、そなえて！

今年度も早いもので、もう1週間となりました。今年度もいろいろありました。改めて振り返ると、子どもを支える大人も振り返ることが必要になってきます。

子どもの幸せに向かって学校でできること家庭でできることを考え、同じ方向を向いて力を合わせていきたいと考えています。

## スタートを大切に！

スタートと言えば、朝の起床時間です。朝起きるのが遅くなると、気持ちが前向きにならず、朝食が食べられなかったり、歯みがきや洗顔ができなかったり、排便ができなかったりします。生活のリズムと体のスイッチのリズムが狂い、体が何となくだるいという症状が出てきます。これは病気ではありませんが健康でもありません。また、脳細胞の全てにスイッチを入れるのに約1時間半～2時間かかると言われています。学校の授業の始業を考えると、午前7時には起きるようにしてほしいです。朝7時に起きると、朝食も食べ排便を済ますなど、体全体を起こすことができます。

## 食事を大切にしよう！

自分の体は、自分が食べたものでできています。また、1日の活動のエネルギーにも使われます。朝食で取ったブドウ糖が脳で使われるエネルギーになります。子どもの嗜好も過度に甘い物、塩辛い物が増えていると言われています。以前から、健康情報などでアミノ酸の話が出ていますが、味噌や豆腐・納豆に多く含まれているそうです。ついつい洋風になりがちな食事ですが、和食にも目を向けてもいいのでしょうか。

また、食事の乱れは、精神的にもよくありません。イライラしやすくなったり、脱力感を覚えたりして、学習に集中できなくなってしまいます。

## 自分のことは、自分でしよう！

「学力をつける」と一口に言っても、糊やテープでくっつけるわけにはいきません。何が必要なのかというと、その力の必要性と力を身に付けるための手段がります。

そのために時間はかかるでしょうが、自分のことは自分でさせましょう。不便だと感じたりできなかったりすることで、もっと便利にならないかと考えたりできるようになります。それが子どもにとっての必要性です。必要性を克服するために、いろいろ試していくでしょう。しかし経験がないと、どこから始めたらいいかが分かりません。自分でやらないと、達成感や自己肯定感などは、生まれません。

子どもが自分の力を信じて、積み重ねてこそ本当の力が付いていきます。焦らずじっくり必要な時間をかけて、子どもの力を育てていきましょう。

来年度も「全ては、子どものために」お力をお貸しください。よろしくお願ひします。

との自覚があります。今年は、雪の日が多く、寒い日が続きました。お布団からなかなか出られなかったのかもしれません。しかし、理由はそれだけではないようです。「生活見直し週間」で調べていると、寝る時刻が遅い子どもが多いです。低学年でも11時頃に寝ている子どもがいました。高学年になると、12時過ぎてから就寝する子どももいました。

昨今、「子どもは忙しすぎる」と言われていますが、1日の時間の使い方はどうでしょうか。「〇〇があったし、少々ここでゆっくりさせよう。」とか、付き合っている保護者の方が疲れてしまい、必要な声かけができていなかつたりしないでしょうか。小学生から中学生の間は、体をつくる時期もあります。食事や睡眠のなど、子どもの健康な体づくりについて、今一度考えてみてください。子どもは、させないとできるようにはなりません。ここで、基本的な生活習慣を身に付けておかないと、体内時計が狂い、将来、元に戻る可能性は低くなります。何事も、突然できるようにはなりません。一つ一つの積み重ねが大切です。もうすぐ春休みです。お子たちと時間の使い方を話し合って、頑張るところ・休憩をするところを話し合ってみてください。

次に改善が必要な項目は、「⑧テレビを見る時間やゲームをする時間を決めている。」です。これも、三者とも大幅にポイントが下がりました。

ここ最近、子どもたちが携帯電話を持つようになり、自分の部屋に入ってからも、ゲームができるようになりました。保健室に「しんどい」と来室する子どもの中には、「ちょっとだけ、と思ってゲームしていたから、寝るのが遅くなつた。」「ユーチューブを見ていたら寝られなくなった。」という理由を口にする子どもがいます。



この項目は、先ほどの項目⑦早寝早起きをしている。」のポイントの低さと関係しています。携帯を子どもの部屋の持ち込まない工夫や何のために持つようになったのか、何に使うのかもう一度、話し合ってください。道具が悪いのではありません。使い方が悪いと、道具そのものが悪くなってしまいます。

最後は、「⑪PTA や地域の行事によく参加している。」です。子どもや保護者のポイントが低くなっていますが、教職員のポイントは高くなっています。

秋はスポーツの大会やイベントが多く、子どもも何に参加すればいいのか迷うこともあったでしょう。PTA や地域行事に参加している実際人数を数えてみると、参加人数は増えています。

ただ、「△△は無理。できないもん。」と最初からあきらめず、挑戦だけはしていってほしいと願います。何事も初めてのことはあります。そして、初めから上手にできることはありません。しかし、やらないとできるようにはならないのです。なりたい自分に近づく第一歩として、自分に自信を付ける機会として、PTA や地域の行事に参加してみては、いかがですか。

